

地域を育てる学力（グローバルマインド）を育む学校経営

北海道上ノ国高等学校 学級数 3 （校長 吉田 享平）

□ 実践の概要

長年にわたり、校訓「剛健、創造、友愛」のもと、人・地域・環境・世界とのつながりを感じながら、「伝統・文化を尊重しつつ、グローバルな視点や国際感覚をもって地域の課題解決を図ろうとする生徒の育成」をスクール・ミッションの一つに掲げ、学校づくりに取り組んでいる。

1 実践の目的

グローバルな視点で地域を想い、地域を育てる学力を育成することを目的とし、地域内外の教育資源を活用した教育活動を展開し、地方の過疎化・人口減少などの社会課題を乗り越え、持続可能な地域社会に資する地域の公立高校の在り方について、地域住民とともに考え実践する学校経営を目指す。

2 実践内容

(1) 実施計画

- 令和 5 年度 地学協働コンソーシアム及び学校運営協議会を核とした地域関係者・団体との連携推進
- 令和 5 年度 更なる教育課程の改善・充実に向けて、北海道檜山振興局地域政策課と北海道教育庁檜山教育局との連携による「地域学校協働活動推進事業」を発足させ、「総合的な探究の時間」の内容の充実を検討
- 令和 6 年度 地学協働コーディネーターを配置し、地域内外とのネットワーク強化推進
- 令和 6 年度 上ノ国町からの支援拡大を受け、国内留学施設 British Hills（福島県）での英語研修機会の設定
- 令和 7 年度 上ノ国町からの支援充実によるニュージーランドへ海外研修参加者数の拡大

(2) 取組の具体

- 探究的な学び及び協働的な学びの推進
「地域探究学習」や「ふるさと高校生議会議」での政策提言など、世代を超えた多様な大人との交流や対話の機会を重視。社会とのつながりを実感しながらキャリア形成の促進。
- 国際交流事業の充実によるグローバルマインドの育成
小さな地方の町から世界を意識し、国際的な視点から地域を考える素養を身に付ける事業として British Hills やニュージーランドでの研修を実施。研修の成果を発表するなどし、町内の小・中学生をはじめとする町民に還元。
- 伝統行事「いじめ根絶討論会」の開催
地元中学生と合同実施し、中学生が高校生と直接触れ合い、対話をする中で、ともに学び合う機会の設定



【いじめ根絶討論会】

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

【成果】

- これまで有機的に繋がりをもっていた上ノ国町や地元企業等のステークホルダーとの連携を強化し、生徒は地域の課題に対する当事者意識の醸成や、実社会を意識した「総合的な探究の時間」となる探究過程の改善から、地元への愛着や地域活動へ主体的に参画する態度の育成に成果を上げている。また、全ての生徒がグローバルな視点や国際感覚をもって地域の課題解決を図ろうとする生徒の育成に繋がった。

【課題】

- これからの地域経済を支える洋上風力発電に係る人材育成に資する教育課程の編成・実施
- 道南唯一のユネスコスクールとして ESD 教育のさらなる推進



【地域懇談会】

(4) 改善に向けた取組

- 生徒が探究学習で得た学びを広める観点から、管内中学生に向けた出前授業を行い、地元の高校で学ぶことが将来の生き方や今後のキャリア形成にどのように影響するのかについて、考えるワークショップを実施した。

3 実践のポイント

- 世代を超えた多様な大人の「想い」に触れながら、自分たちの住んでいる地域の魅力を再発見し、自分も地域社会の一員であるという気持ちが醸成されている。
- 世界とのつながりを実感させる中、足下の地域に誇りを持ち、小さなことでも自分から行動を起こし、課題を乗り越え、未来を変えることに果敢に挑戦するマインドを育成する学校経営の改善・充実に向け取組を進める。